

社内活動で業務を共有できる体制に 残業ゼロと年次有給休暇90%以上取得を実現



我が社の
女カッ
Point

- ❁ マニュアルを整備し、誰でも仕事ができる
業務の見える化で業務改善が進み、業務効率が向上
- ❁ ファイルの置き場所の統一で、休暇時の代替がスムーズ
急な休みが発生しても、業務がストップしない
- ❁ 2人協働型の業務配分で多様な勤務時間で働ける
短い時間での勤務が可能だけでなく、
業務の共有と助け合いで仕事のスピードも質もアップ

この人に
聞き
ました!!
代表取締役 谷渕 陽子 さん

取組みの背景やきっかけは?

多くの女性は、結婚、出産、子育てを経験します。弊社でも、そのために職場を離れ、再び返ってくるという社員が増えてきた時期がありました。そこで、どうすれば働きやすい職場になるのかを考え始めたのです。

具体的にスタートしたのは10年ほど前から。仕事が終わった派遣社員さんと連絡を取り、サポートをするのが派遣元の仕事ですから、どうしても夜の連絡になってしまいます。派遣業界では残業をするのが当たり前。ところが、子育てが始まると、時短を希望する人が増えてきます。そこで、どうしたら早く帰れるのかを工夫し始めました。まずは、派遣社員さんとも相談し、お昼休みに連絡を取り合うことで、残業ゼロに踏み出しました。

取組みの進め方や内容は?

弊社は社員の6割以上が短時間勤務。全員がそろうことはめったにありません。それでも問題なく仕事を進めるのは言うに及ばず、時短勤務においても最大限能力を発揮し、さらに効率よく仕事を進めるためのシステムづくりを考えてきまし



た。それが、「パワーネットの働き方改革推進」のための8つのチームと5つの委員会であり、例えば「業務スキル向上チーム」「業務カイゼン推進チーム」「ファイル見える化チーム」などです。

業務の効率化と共有のためのすっきりファイリングは、「公・私の区別をする」「要・不要に分ける」「置き場所決める」という3つの改善から始まります。そのルールを常に明示し、机の配置の工夫はもちろん、机の上の物の置き方や引き出しの中の物の入れ方も統一しました。そうした知恵とノウハウを積み上げ、業務改善に取り組んできたことで、急な休みで担当者も不在でも業務がストップしない体制ができました。

苦労したことやエピソードといえば?

しかし、上記のようなマニュアルやファイルの整備だけでは、複雑な仕事をスムーズに引き継ぐことができません。けれども、時短勤務の方は、決まった時間に帰らなければならない事情を抱えています。そこで、フルタイムで働ける上司と時短勤務の部下など、一つの仕事を2人で協働し、どのような状態でもお互いにフォローできる体制をつくり、業務をスムーズに遂行できるようにしました。これにより、時短勤務の方も重要な仕事を手掛け、責任あるポジションに着くことができます。2人の協働体制は、指示待ちの部下を生み出すのではなく、より積極的に仕事をこなす人材を育成しています。



Company Profile

所在地 香川県丸亀市中府町一丁目19番地1
 事業内容 人財事業(人材派遣・人材紹介)、女性の活躍推進事業、業務ソフトの導入支援、訪問指導など
 従業員数 11名(全て女性)
 [正社員]5名 [パート]6名

会社の特徴

経営理念は「人と企業の幸せをつなぐ地域創造企業」。「経営の科学性」「経営の社会性」「経営の人間性」を3つの基本理念とし、女性を活かす人材派遣などの事業はもちろん、働く女性のための「きらめき未来塾」や働き方を改革する「なでしこ組織塾」を運営している。

▶平成26年度香川県ワーク・ライフ・バランス推進企業表彰 知事賞
 ▶平成27年度四国でいちばん大切にしたい会社大賞 奨励賞



一つの仕事を複数で担当すると聞いて、これを非効率的と発言する人がいますが、これは、とんでもない話です。この2人協働型というパワーネット方式により、仕事のスピードも質も確実にアップしています。

今後の展開は?

“ワーク・ライフ・バランス”における“ワーク”の真の意味は、「仕事の責任を果たす」ということ。やるべき仕事をやるべき時間内で終わらせるからこそ、時間が来れば退社することができます。計を立てて休暇を取ることができます。だらだらと仕事

をして、家に帰れば寝るだけというやり方を改めて、業務を改善し、効率を上げる工夫を最大限に行うということです。これにより、仕事も家庭生活も充実させることができます。

これは、個人も企業も地域も幸せになることですから、自社の勉強会をベースに地元企業の皆さまと共に“働き方改革”を広げていくことができると願っています。そのために、地域で働く女性社員の方と共にスキルを高める「きらめき未来塾」や経営の最重要課題としてワーク・ライフ・バランスを学ぶ「なでしこ組織塾」などを開催しています。

Staff Interview

子連れ出勤の日々を経て、地域に働きやすい職場の拡大を願う

人財事業部 企画営業グループマネージャー
キャリア・コンサルタント 山本 佳子 さん



勤続10年。子育てをしながら仕事を続けるパワーネットのロールモデルとなった存在。企業と求職者をマッチングする仕事を中心にキャリアを積み、現在は会社全体のマネジメントを担当し、社長の右腕といえる人物です。



Comment

子どもが2歳の時に入社。当初は、保育園の送迎で子どもを会社に送ってもらい、夕方から子どもをそばに置いて仕事をするという状況でした。また、小学校入学時には半年ほど半日で帰っていたことも。“ワーク・ライフ・バランス”のシステムは、まだ始まっていませんでしたが、谷渕社長はご自身の経験からも子育ての大変さを理解してくださり、配慮してくださいました。それが、我が社の取組みのスタートではないでしょうか。

この10年で大きく改善してきたと実感するのは、「残業ゼロ」の実現です。仕事を細分化し、共有化していくことで、無理と思えた「残業ゼロ」を可能にしました。

自身のスキルはもちろん会社の制度などを磨き、地元へ貢献できる“ワーク・ライフ・バランス”のシステムを広げていきたいと思っています。